

知多木綿発祥の地・岡田 つむぐ、織姫のまちづくり構想

1 知多木綿発祥の地・岡田の概要

- 岡田地区は、江戸時代から昭和 30 年代まで知多木綿の生産地・集積地で栄えた街であり、最盛期には木綿工場や商店、劇場などが軒を連ね、約 3,000 人も女工さんが働くほどの賑わいだったと言われています。
- 今も、国登録有形文化財「知多岡田簡易郵便局」、「木綿蔵ちた(旧竹内虎王商店木綿蔵)」、「旧岡田医院」、「旧中七木綿本店」をはじめ、個人の所有する約 100 の蔵など、築 100 年を超える古民家が現存しており、往時の賑わいを偲ばせるノスタルジックな街並みや建物が残されています。
- 近年は少子高齢化などで保存に携わる担い手が不足し、街並みの持続的な保全に対する課題も顕在化しています。一方、若い経営者が古民家を活用した新たな楽しみ方を生み出しており、さらに新たな価値創造を図ることが期待されています。



『知多木綿発祥の地として蓄積されてきた歴史や機織り文化』と『これまで継承・保全されてきたノスタルジックな街並み・建物』が知多市岡田地区のレガシー形成に向けたキーワード

<知多木綿発祥の地>

- 知多木綿は、江戸時代の初期から知多半島で生産されてきた綿織物であり、その美しい生地は最高級の木綿として江戸に広まりました。
- 知多地方は、我が国の木綿織の中心地の1つであったことから、その紡織習俗と関連用具がよく残っており、「知多木綿の紡織習俗」として、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選定されています。

<ノスタルジックな街並み・建物>

- 岡田地区の懐かしさを感じるノスタルジックな街並みは、他の古い街並みと異なり、行政があまり介入することなく地域住民の努力によって保存されてきた点が特徴です。
- 近年、古民家を活用した小規模商業施設、クラフトビールのブリュワリー、知多木綿のアンテナショップなど昔の建物を保存しながら現代の新たな楽しみを取り入れた活用も始められている一方、空き家の増加、古民家等の取り壊しなど、街並みの保全が課題となっています。

2 レガシー形成に向けた岡田地区のまちづくり課題

<知多木綿発祥の地>

現状

- 現在も操業を続ける織物生産工場「オカトク岡田工場・岡田東工場」
：往時の木綿産業を支えた女工寮として使われていた建物も現存(不使用、老朽化)
- 機織り体験施設:「木綿蔵ちた(体験中心)」、「伝承知多木綿つものき(教室中心)」
- 知多木綿アンテナショップ「chitacotton478」開業
- インバウンドのニーズとしては「本格的な体験」や「岡田にしかない商品」への期待が高い



課題

- ▼織物生産工場や旧女工寮、機織り体験施設など、知多木綿に関連する地域資源を効果的に活用し、『知多木綿発祥の地』を地域ブランドとした岡田の魅力・付加価値をさらに高めていくことが必要
- ▼知多木綿発祥の地として蓄積されてきた歴史や文化を踏まえて、「岡田にしかない商品」、「岡田でしかできない体験」などといったウリを明確にしていくことが必要

<ノスタルジックな街並み・建物>

現状

- 登録有形文化財の4つの建物をはじめ、岡田中心部だけでも歴史的価値のある建物(昭和中期以前の建物)が167件(273棟)も立地し、歴史的な街並みを形成している。
：中心部の旧道沿いに歴史的価値のある建物が特に集積する
- しかし、近年は空き家が増加しており、上記のうち20件(31棟)が空き家となっている。近い将来に空き家になる懸念がある潜在的な空き家も加えると数は倍になる。
- これまで明確なルールがない中でも地域住民の努力によって保存されてきた街並みであるが、今後も住民の努力のみで街並みを保全していくことは難しくなる恐れがある。
- ニーズ調査の結果からも、岡田地区の魅力として「歴史的な建物・街並み」や「古民家を活用した店舗など」が大きな要素と考えられる。
- インバウンドのニーズとしては、古民家を活用した宿泊施設の人気の高い。

課題

- ▼空き家の活用や潜在的な空き家の将来的な空き家化・除却の抑制を地域全体で取り組み、「歴史的な建物・街並み」を保全していくことが必要
- ▼空き家活用や街並み保全を地域全体で取り組むための仕組み・体制づくり、ルールづくりが必要

3 まちづくりビジョン

●地域住民などの想い「20年後の地域イメージ」

| <歴史・街並み・建物> | <体験・機能> | <人・地域> | <子ども・若者> |
|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○歴史のある古い街並み・建物、景観が残る ○祭り、伝統、提灯が残る ○古い建物の良さを生かした店・宿がある ○文化遺産の保存・展示 ○空き地を活用 | <ul style="list-style-type: none"> ○ディープな体験ができる ○新しい店・宿ができる、新名物ができる ○半日、一日楽しめる ○住民の移動を支える交通システム ○大きな駐車場 | <ul style="list-style-type: none"> ○住民が誇れる・自慢できる、郷土愛がある ○コミュニケーションがある、住みやすい ○知多半島 No.1の名所になる、知名度があがる ○岡田の良さに気づく人が増える | <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの声が聞こえる、子どもの学びになる ○若者が多い ○若者が盛り上げる・まちづくりに参加する ○次世代が住み続けられる |

●地域住民などの想い「20年後の地域コンセプト」にかかるキーワード

歴史・伝統を大切にす / 古い街並み・建物を守る / 古民家、空き家・空き地を活かす / 若者が集う、若者が盛り上げる / 子どもが住み続けられる / 住民が誇れる・住みやすい

●来街者・潜在的来街者のニーズ「岡田地区に期待するイメージ」、「岡田地区の魅力向上に必要なこと」

古い街並みやなつかしい景色 / 古民家を活用した居心地の良いカフェや雑貨店 / 名物となる食べ物、食べ歩き・散策 / 一日楽しめる回遊性・滞在性 / アクセスしやすさ・駐車場

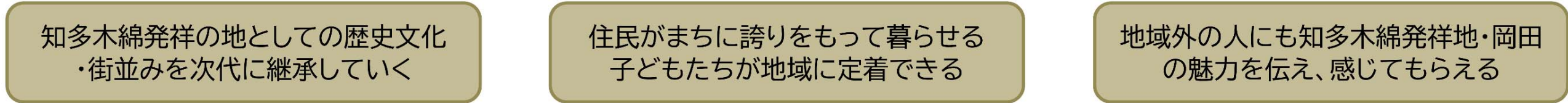
●インバウンドのニーズ

欧米やアジアの個人旅行客の誘客可能性 / 宿泊施設の充実や知多木綿の体験充実が重要

●クリエイター・事業者等のニーズ

古民家等を活用した知多木綿に関わる創作活動、多様な事業展開の可能性

●まちづくりビジョン



【ターゲット】 地域住民
 ★住民が大切にしたいものを守り・継承する⇒次世代の子ども達に残す
 ★住民が住みたいまちにする⇒住民が利用したいもの、働く場をつくる

【ターゲット】 岡田の魅力・価値に共感する来訪者・観光客
 ★SoN などへの来訪者を、よりコアな岡田ファンにする
 ★古民家や街並み、知多木綿のファン、女性を惹きつける
 ★中長期的には、インバウンド観光客の来訪・滞在にも対応できるように

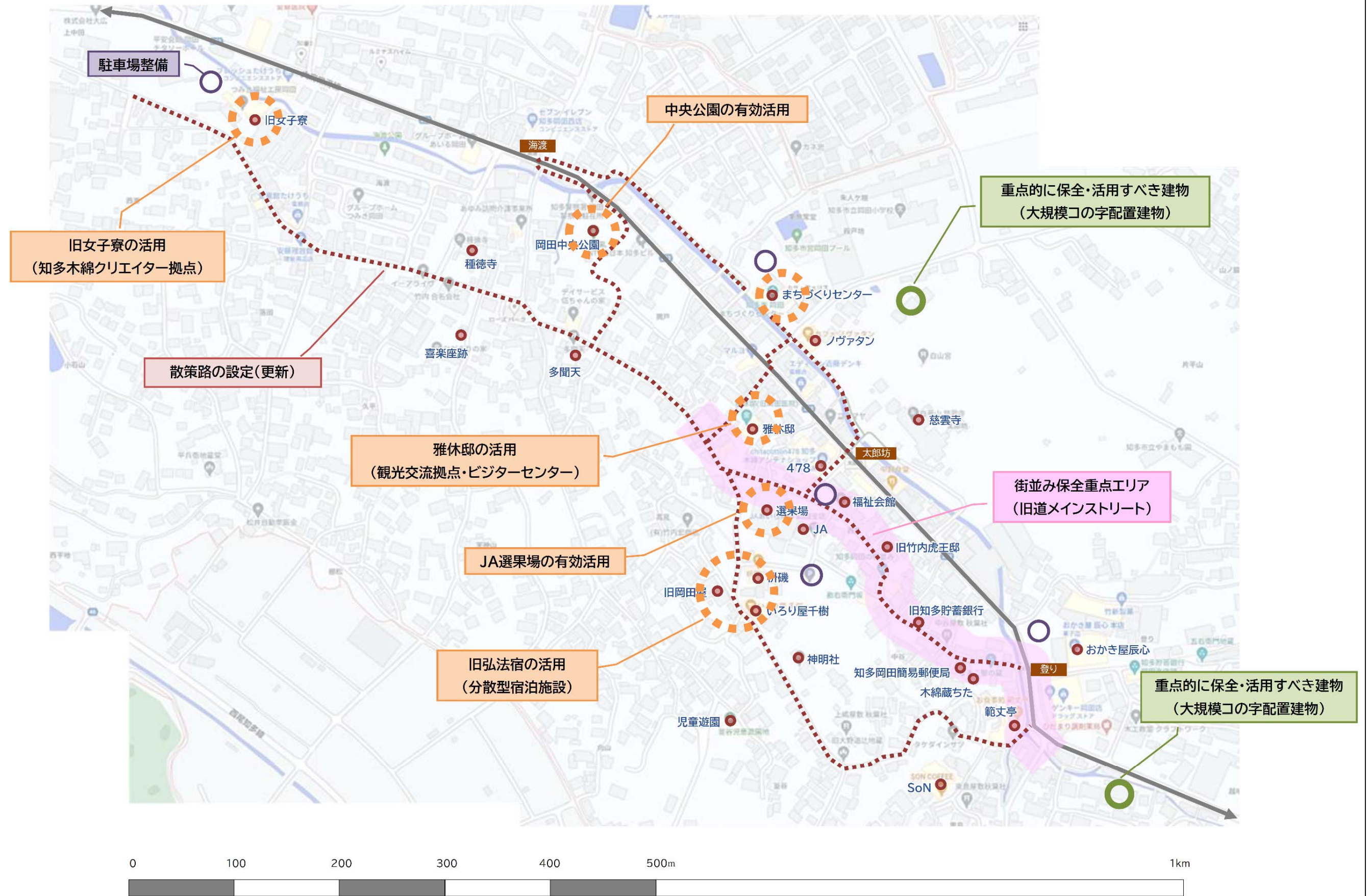
<まちづくりビジョンの実現に向けて取り組むべき方向性>



4 知多木綿発祥の地・岡田 つむぐ、織姫プロジェクト

| プロジェクト1 街並み・建物の保全 | <織姫プロジェクトとしての展開方向> | |
|---|---|---|
| <p style="text-align: center;"><地域からの提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○メインストリートの設定 ○古い建物のクリーンアップ、子ども達を巻き込んだイベント化 ○知多木綿のれんの作成とまちなかへの取り付け ○新築・改築時に基準を設定 ○建物維持の方法など建築家のレクチャー開催 | <p>展開1 保全すべき街並みや建物の明確化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●街並み保全重点エリア(メインストリートなど)の設定 ●重点的に保全すべき建物の設定(文化財登録だけでない地域独自の選定) ●保全への理解を深める啓発イベント(建物お掃除ワークショップ、のれん取り付けなど) |
| | <p>展開2 街並み保全のゆるやかなルールづくりと共有化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●新築・改築時の参考基準、維持保全方法の参考例などをまとめたマニュアル作成 ●街並み保全の重要性を地域全体で共有する勉強会などの開催、人材育成講座の開催など |
| プロジェクト2 古民家・空き家の有効活用 | <織姫プロジェクトとしての展開方向> | |
| <p style="text-align: center;"><地域からの提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○雅休邸の活用(ビジターセンター) ○旧女子寮の活用(アーティストインレジデンス、工房、女性用住居、宿泊施設) ○JA選果場、福祉会館の活用(主目的だけでなく幅広い利用、観光案内所、カフェ、街並み散策の拠点) ○土井家の岡田の文化財の展示・保存の場としての利用 ○宿泊施設にリノベーション、弘法宿(4か所)の復元 ○空き家活用を行いやすくする制度設計・税控除やインセンティブの活用 | <p>展開3 拠点となる施設整備</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●雅休邸、旧女子寮の活用検討(観光交流拠点・ビジターセンター、知多木綿クリエイター拠点、宿泊機能の拠点などとしての利用) ●JA選果場、福祉会館、中央公園など既存施設の有効活用策の検討 |
| | <p>展開4 飲食・物販・宿泊機能等の強化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●空き家・古民家等を活用した飲食・物販・宿泊機能等の導入に向けた事業化の促進 ●旧弘法宿などを中心とした宿泊機能の導入に向けた事業化の促進 |
| | <p>展開5 空き家・古民家活用促進のための仕組み・制度</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●空き家・古民家の情報の収集・集約体制・利活用にあたっての相談体制の構築 ●空き家・古民家の利活用にあたっての助成制度など |
| プロジェクト3 知多木綿による地域コンテンツの充実 | <織姫プロジェクトとしての展開方向> | |
| <p style="text-align: center;"><地域からの提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動の連携(つものき×木綿蔵×478)→新たな商品の開発 ○他地域との連携(有松など)と歴史探訪→体験の充実 ○機織り機レンタルサービス、照明器具「木綿のあかり」の開発 ○昔の生活を体験できる、ツアー実施 ○若者が関われるようなクリエイティビティのある取組 | <p>展開6 知多木綿発祥の地・岡田にしかない商品づくり</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●連携による商品開発(つものき×木綿蔵×478+飲食店、知多木綿商品・飲食メニューなど) ●知多木綿の技術・道具などを活用した商品づくり(照明器具「木綿のあかり」など) |
| | <p>展開7 知多木綿発祥の地・岡田でしかできない体験・学習</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●機織り体験・学習機会の充実(木綿蔵での体験、つものきでの教室+プラスα) ●機織り機レンタルサービス・機織りシェアワーキング、本格的な機織り学習機会など ●知多木綿を次世代に継承する啓発イベント(ワークショップ CHITAMOMENT など) ●他地域と連携した体験メニュー・観光ルートの造成(有松絞など) |
| プロジェクト4 回遊性の向上と情報発信 | <織姫プロジェクトとしての展開方向> | |
| <p style="text-align: center;"><地域からの提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歩道橋をまちの入り口としてシンボル化、坂道を活かした散歩道 ○移動手段(セグウェイ、高齢者用カート、馬車、トウクトウ的な乗り物) ○食べ歩きできるまちづくり ○知多木綿の着物を着て散策 ○桜をPRするイベント、紅葉を楽しめる観光スポット、織姫まつり(練り歩き) ○ブランド力を意識した情報発信、知多木綿を中心としたPR戦略 ○着物で歩ける・写真映えする街としての情報発信 | <p>展開8 岡田に来たくなる、岡田の街を歩きたくなる仕掛け</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●散策路の設定(更新):駐車場配置、街の入り口・メインストリート・散歩道の明確化 ●岡田の魅力をPRするイベントの企画・開催(季節ごとの魅力、知多木綿の魅力など) ●着物を着て散策、食べ歩きしながら散策を楽しめるような取組 ●地区内の移動を支える・楽しみながら移動できる手段の導入(レンタサイクルほか移動手段) ●駐車場の充実 |
| | <p>展開9 情報発信・PR戦略</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●SNSの活用、子ども・若者の力を活かした情報発信 ●「木綿と言えば岡田」を実現するPR戦略(着物を着て散策したい街、写真映えする街) 岡田のストーリーを発信、岡田にしかない商品・岡田でしかできない体験をPR |

4 知多木綿発祥の地・岡田 〰つむぐ、織姫プロジェクト (まちづくり構想図)

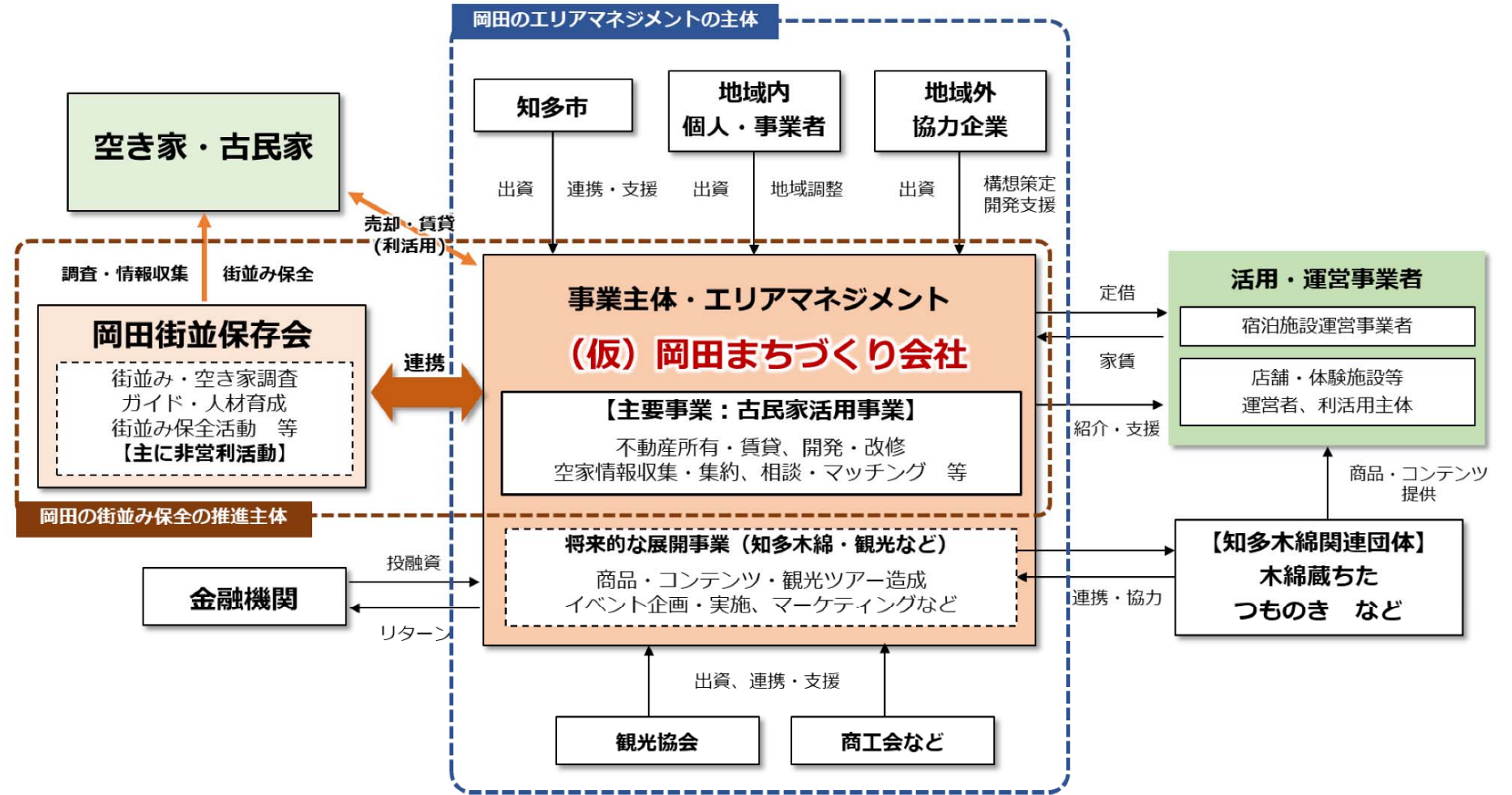


5 プロジェクトの推進に向けて

<推進体制のイメージ>

「(仮)岡田まちづくり会社」の設立推進

- 各種調査の結果から、古民家の利活用を行い、岡田地区全体のまちづくりを推進していく組織(「(仮)岡田まちづくり会社」とする。)の必要性が強く示唆された。
- 「(仮)岡田まちづくり会社」は、岡田街並保存会とともに、岡田の街並み保全の推進主体となり、エリアマネジメントの役割も担いながら、主に古民家活用事業などを展開することとする。
- 「(仮)岡田まちづくり会社」は、事業主体として古民家活用を牽引するほか、国等の交付金を活用した事業の提案・実施や、知多市と協働・連携したまちづくり事業の実施などを通して、岡田地区のまちづくりのコーディネーターとしての役割も担っていく。
- 将来的な展開としては、知多木綿を活用した商品開発、コンテンツ造成なども、観光協会や商工会などとの連携のもとに事業展開していくことも見据える。



5 プロジェクトの推進に向けて ～事業展開のイメージ～(想定する実施主体・スケジュール)

